



【教育目標】

- ・ 自ら学習する生徒
- ・ 正しく判断できる生徒
- ・ 健やかな生徒

発行者 校長 高橋知宏

「一円融合」 心を一つに 充実した2学期に！

（以下、2学期始業式式辞の抜粋です。）

2学期は82日間の長い学期です。様々な活動が展開され、学校生活に幅と厚み加わり、素晴らしい思い出を残すことのできる学期です。この2学期を充実したものにするために、皆さんに日々意識してほしい言葉を紹介しします。それは、「一円融合」という言葉です。

この言葉は、江戸時代に起きた大飢饉で大きな打撃を受けた相馬中村藩が、藩の立て直しのために取り入れた「報徳仕法」の中にある考え方です。

「一円融合」とは、すべてのものは互いに働き合っており、一体となったときに初めて結果が出るという意味です。植物は、水、温度、土、養分などが融合した中で育ちます。人間も同じで、自然環境や社会環境が一つになって融合し、働き合う中で育っています。このことから、何事を行うにも力を合わせて一つになることが大切であると考えられるようになりました。つまり全員が、心を一つにして協力し、力を出し合うことで、素晴らしい力を発揮できるということです。

では、どうしたら心や力を合わせることができるのでしょうか。そのためには、皆さん一人ひとりが「思いやる心」を大切にしながら日々の活動に取り組むことです。

「思いやる心」とは、自分以外の他の人や物を大切にすること、具体的には三つあります。

- 1、人を大切にすること。これは、言葉を大切にしたり、挨拶をすることです。
- 2、物を大切にすること。これは、生活環境を大切にすることです。
- 3、時を大切にすること。これは、集団生活の中で時間を守ることです。

普段の生活の中において、これら三つの「思いやる心」を大切にすることで、皆さんの心が一つになっていき、それが行事などでの大きな成果へとつながっていくのです。

「報徳仕法」については、『思えば昔 聖人の 教をたれし この里は 報徳のいさお とこしえにみずほの秋を たたえしむ』と校歌にも歌われています。石神生涯学習センターの隣には「報徳仕法」を説いた二宮尊徳と、それを相馬中村藩に広めた富田高慶のお墓があります。何度か訪れたこともあるでしょう。また、石神生涯学習センターが建っている場所は二宮家の住宅跡でもあります。さらに、西昇降口には二宮金次郎像もあります。

このように、私たちの周りには、「報徳仕法」に関わりの深いものが幾つもありますが、あらためて「一円融合」という言葉の意味を心に留め、毎日の学校生活の中に活かしてください。

新しいALTの先生と用務員さんが着任しました



ALTのジョアンナ・ミッシェル・リード先生と用務員の豊田正夫さんが着任しました。ジョアンナ先生は4週間前にアメリカのカリフォルニア州から来日されました。趣味はバレーボール、料理、絵を描くことで、日本語の勉強も好きだそうです。豊田さんは宮城県塩竈市のご出身で、仲町にお住まいです。

子どもたちとふれ合いながら楽しくお仕事をしていきたいと思います。